

中教審教育課程部会のこれまでの検討状況

平成13年1月 学習指導要領の不断の見直しを行うため、中教審に教育課程部会を常設の部会として設置

平成15年5月 「今後の初等中等教育改革の推進方策について」(包括的な諮問)

平成15年10月

「初等中等教育の当面の教育課程及び指導の充実・改善方策について」(答申)

平成15年12月 学習指導要領の一部改正

- (1) 学習指導要領の「基準性」の一層の明確化
- (2) 「総合的な学習の時間」の一層の充実
- (3) 「個に応じた指導」の一層の充実

学習指導要領の不断の見直しの推進

平成16年3月～

各教科等の専門部会を設置し、初等中等教育全体を通じた教育の在り方、教員の指導力の向上等について審議

学習指導要領全体の見直し

平成16年12月～

学習指導要領全体の見直しについて、本格的な検討に着手

平成17年2月

学習指導要領の見直しに当たっての検討課題を提示

平成17年10月26日 「新しい時代の義務教育を創造する」(中央教育審議会答申)

義務教育全体の在り方の見直しに関連して、教育内容の改善の基本的な考え方を提言

【教育内容の改善の基本的な考え方】

- ① 「読み・書き・計算」などの基礎・基本を確実に定着させ、教えて考えさせる教育を基本として、自ら学び自ら考え行動する力を育成する
- ② 将来の職業や生活への見通しを与えるなど、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させる教育を充実し、学ぶ意欲を高めること
- ③ 家庭と連携し、基本的な生活習慣、学習習慣を確立すること
- ④ 国際社会に生きる日本人としての自覚を育てること

平成17年10月～

学習指導要領の見直しについて、具体的・専門的な検討を継続